

## アフガニスタン文化遺産保護を訴える緊急提言

アフガニスタンにおける事態の急変によって、再び人類共通の文化遺産が危機に直面しております。遺跡や文化遺産の保存に当たっている人びとから緊急の救済の叫びが届いていません。

私たちはアフガニスタンにおける持続的な平和を心から願っています。文明の十字路口といわれるアフガニスタンは私たち日本の古代文化につながるシルクロード遺産の宝庫です。かけがえのない人類遺産を何としても守らなければなりません。

2001年以後、私たちはアフガニスタンにおける平和樹立の礎のひとつになればとの思いで、戦時に破壊され、荒廃の危機にあった文化財の修繕・保護にユネスコと協働する形で力を注いできました。アフガニスタンの誇るべき二つの世界遺産、イスラームの記念碑であるジャムのミナレットと、比類ない文化的景観として世界が認めるバーミヤンの遺跡もともどもいまだその修繕の途上にあります。とりわけわが国の古代文化とも深い繋がりのあるバーミヤン遺跡については、私たちはユネスコとともにこの世界遺産の修復・保全に力を注いでまいりました。そしてようやく崩壊する危機を脱するところまで漕ぎ着けましたこともご存じのことと思います。

また故平山郁夫先生が中心となって救済した「アフガニスタン流出文化財」は2016年にアフガニスタンに帰還し、国立博物館に展示されてアフガニスタンの輝きを人々に教え、多くの若者が自らの国の歴史と文化に対する誇りと愛着を持つことができたことと喜びの声が届きました。またここ十数年間にわたって世界を巡回した「バクトリア黄金展」に出品されたシルクロードの輝かしい文化遺産も巡回を終えて、昨年本国に帰ってきたばかりです。今は大統領府の金庫に保管されていると聞いています。これらのアフガニスタンの文化遺産は《比類なき人類共通の文化遺産》として保持されるべきもので、再び戦火に晒してはならないものです。

私たちは訴えます。アフガニスタンではこれ以上の流血は絶対に避け、アフガニスタンを世界へ繋ぐ文化遺産を再び戦火に晒させないために世界はいま大きな声を揚げなければなりません。

人類共通の叡智の集積である文化遺産は新たな和平と持続する平和への歩みにならずや光を投げかけてくるものと願いながら……

アフガニスタンの戦火を収め、流血なき和解と文化遺産の保護を願う者一同